

令和3年西日本泌尿器科学会理事会 議事録

日時：令和3年11月4日(木)12:30～14:30

場所：宮崎観光ホテル 2F日向

【出席者】

総会会長：賀本敏行

理事長：江藤正俊

理事：井上啓史、井川 掌、榎田英樹、金山博臣、神波大己、雑賀隆史、
斎藤誠一、酒井英樹、杉元幹史、武中 篤、永井 敦、那須保友、
野口 満、羽賀宣博、藤本直浩、松山豪泰、和田耕一郎

監 事：田中正利

欠 席：笥 善行

オブザーバー：日向信之

《50音順》

事務局：猪口淳一（編集幹事）

溝上沙椰伽、紫牟田聡美（事務局員）

《敬称略》

会に先立ち、司会の江藤正俊教授より本理事会が新・西日本泌尿器科学会定款に基づき成立すること、監事として田中正利先生がご出席、弁護士の堤健太郎先生、税理士の山口芳子先生、森山文徳先生にご出席いただいていることがあわせて伝えられた。

また今回より、議事録署名人方式は廃止となり、今後の理事会議事録の署名は監事を含む出席者全員に書面でいただくことが報告された。

【逝去会員への黙祷】

【第73回総会会長御挨拶】

宮崎大学 賀本 敏行 教授

【報告事項】

1. 新理事のご紹介・ご挨拶

鹿児島大学 榎田 英樹 教授

島根大学 和田 耕一郎 教授

広島大学 日向 信之 教授がオブザーバーとして紹介された。

2. 一般社団法人設立についてご報告の件

(1) 一般社団法人設立についてご報告

法人の概要及び銀行関係の名義変更について説明された。

(2) 今後の法人のスケジュール

今後の理事会のスケジュールについて、11月（総会時）のほかに6月にも行うことが承認された。6月理事会の候補日については学会等の日程を鑑みて、WEB（ZOOM）開催で行う予定であることが報告された。

(3) 今後の会員種別、会費の支払い方法について提案

現在の会員種別及び会費、変更後の会員種別及び会費について事務局・猪口より説明された。また、会費の支払い方法について現状（郵便振替のみ）から決済代行会社との契約に移行した場合のコストやコースについて提案されたが、決済後の連絡方法などをあらためて決済代行会社へ確認後に報告することになった。

会員サイト（スマートコア）へのメールアドレス登録依頼への協力を要請した。

3. 任意団体最終決算報告（令和3年4月～令和3年8月）

チョーフ会計事務所の森山先生より、今回の会計報告は令和3年4月～令和3年8月の5か月分の会計報告であること、例年との比較が難しいことが報告された。

内訳の詳細については下記の通り報告された。

【収入の部】

会費…

- ・2021年度請求額1,639万円のうち5/12した683万円と2019年2020年の会費（過去2年分）79万円の合わせて762万円を会費として計上している。

- ・会費のうち、2021年度請求額の残り7か月分については、貸借対照表の負債の部に前受金として800万円を計上している。

- ・2019年度、2020年度請求額のうち未入金分の計67万円については、貸借対照表に未収入金として計上している。

掲載料、広告料…

今回の決算対象期間の5か月に入金のあった金額を計上している。この収入について、年度をまたぐ調整はしていない。

転載料、バックナンバー、業務委託費は該当なし。

【支出の部】

収入同様、発生ベースを採用している。

令和3年4月～令和3年8月に支払いのあったものおよび、貸借対照表の未払金として計上されている104万7,470円の合計額を支出の部に計上している。

未払金に関しては、9月に支払いがあったもののうち、8月分の経費について計上している。

支出はおおむね例年通りの金額であったが、大きく変動したのは下記の通りである。

人件費…人材派遣の給与が発生しており例年より増加している。

総会補助金…任意団体の例年通りの金額を支出している。

HP管理費…WEBサイトの改修費、会員専用ページの初期費用および毎月の保守費用が計上されているので、例年より増加している。

当決算では法人化に伴う諸経費の支出はなかった。

この結果、収入の合計が922万4,990円、支出が1,273万1,238円で差引収支は350万6,248円の赤字となった。

会計事務所の森山先生より、今回の決算報告は、関係証憑、元帳、領収書などと照合し、適切に作成されていることが報告された。

また、監事の田中正利先生より、田中先生および寛先生の2名で監査を行ったところ、当会の会計が適切に処理されていることが報告された。

4. 第72回西日本泌尿器科学会総会特別企画収支決算報告

前回（第72回）の大会長である琉球大学の斎藤誠一教授より報告された。

併せて、理事長より法人化後の補助金取り扱いについて説明された。

また、第72回西日本学会総会 学術奨励賞およびヤングウロロジストリサーチコンテストの受賞者について、斎藤誠一教授より報告された。

5. 西日本泌尿器科学会賞（重松賞）、症例報告賞受賞論文の選考結果報告の件 下記の通り決定したことが報告された。

西日本泌尿器科学会賞（重松賞）

受賞者：広島大学 藤井慎介先生

論文名：MRI/transrectal ultrasonography 融合前立腺標的生検と従来の系統的生検の比較

掲載号：82巻2号

症例報告賞

受賞者：鳥取市立病院 笹岡丈人先生

論文名：ニボルマブ・イピリムマブ併用療法による血球貪食症候群を発症した1例

掲載号：82巻4号

受賞者：愛媛県立中央病院 藤方史朗先生

論文名：常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）を原疾患とした先行的腎移植予定患者でミトコンドリア脳筋症（MELAS）併発を認め一旦血液透析導入後生体腎移植を施行した1例

掲載号：82巻5号

6. 編集部報告

編集幹事の猪口より下記事項が報告された。

(1) 論文投稿、掲載状況について

過去3年の状況と、83巻の掲載本数は総会依頼原稿の掲載が遅れているため少なくなっていることが報告された。

(2) 掲載論文数種別について

依頼原稿の論文種別割合が82巻とそれ以前で大きく違うことについて、依頼原稿の種別に左右されているのだろうと説明された。

(3) 地方会推薦論文投稿状況について

論文投稿率が年々下がっていることが報告された。

理事より、被推薦者への論文投稿依頼メールの文中に推薦者の先生のお名前を記載することとメールアドレスをCCにつけることが提案され、承認された。

(4) 掲載論文の筆頭著者所属内訳について

西日本地区とその他の地区で、それぞれ大学と病院別の所属内訳について報告された。

82巻には3大学から投稿がされていないため、積極的に若手の先生へ投稿いただくよう報告された。

(5) 査読状況について

査読返送状況について報告された。

(6) プログラム抄録集のデザインについて

プログラム抄録集について、今までは「西日本泌尿器科」の増刊号として発行していたが今後はデザイン等を主催校に一任すること、会員への送付は今まで通り行うこと、送付先情報については個人情報保護の観点から、学会事務局より印刷済データを受け渡すことが報告された。

(7) 法人化後の非会員に対する雑誌全般の販売について

オンラインジャーナル化したことで非会員からの希望があり、個別販売についての案が報告された。電子フォーム（Googleフォーム）を活用すること、冊子は1冊あたり4,000円、1論文あたりは2,000円で販売することが承認された。

プログラム抄録集の大会後の管理については、西日本泌尿器科学会の事務局にて電子媒体の状態で保管・管理することが理事より提案され了承された。また、プログラム抄録集は、ホームページ上で会員のみ閲覧できるように公開することに決定した。

(8) 会計年度と雑誌の発行スケジュールについて

2021年度の途中で法人化したため、法人化1期分（2021年9月～2022年8月）はすでに2021年度分（2021年4月～2022年3月分）として支払い徴収している分以上には請求しないことが、以前の通信審議で決まった内容であるとあらためて報告された。次の徴収案内時期は2022年6月頃であることも併せて報告された。次年度の支払い方法から会員サイト経由にするためには、それまでに臨時理事会を行うことになることと示唆された。

(9) 2019年・2020年・2021年 会費未納者について

会費未納者について報告が行われた。3年間未納者については、定款に従い2022年6月までに支払いされなければ退会処理を行うことが伝えられ、関係者については理事より納入を呼びかけていただくようお願いがなされた。

7. 日本泌尿器科学会各種委員会報告

(1) 鳥取大学 武中篤教授より、医療安全委員会の報告が行われた。

(2) 宮崎大学 賀本敏行教授より、NCD運営委員会からの報告が行われた。

(3) 久留米大学 井川掌教授より、ガイドライン委員会および用語委員会からの報告が行われた。

(4) 高知大学 井上啓史教授より、教育委員会および当学会倫理委員会からの報告が行われた。

今年12月開催予定の第109回日本泌尿器科学会総会から、総会賞への演題応募には各施設における倫理委員会の倫理審査が承認済みであることが必須になり、第110回総会（2023年4月開催予定）からはすべての演題項目において倫理審査の承認が必要になることが報告された。

当会としては、2022年第74回の学会総会まではこれまで通りに行い、2023年の第75回学会総会は日本泌尿器科学会の動向を確認しながら進めていく方針であると伝えられた。

8. 令和4年度（第74回）西日本泌尿器科学会総会開催地および会長挨拶（産業医科大学）

第74回西日本泌尿器科学会総会は、以下の通りに開催されることが報告された。

御担当：産業医科大学 藤本直浩教授

日 程：2022年11月3日（木）～5日（土）

会 場：北九州国際会議場

テーマ：Urology; Past and Next 10 Years

9. 令和5年度（第75回）西日本泌尿器科学会総会開催地および会長挨拶（愛媛大）

第75回西日本泌尿器科学会総会は、以下の通りに開催されることが報告された。

御担当：愛媛大学 雑賀隆史教授

日 程：2023年11月2日（木）～4日（土）

会 場：ANAクラウンプラザホテル松山

テーマ：坂の上を目指して ―新時代への夢と課題―

10. 今後の西日本泌尿器科学会総会開催についての件

会長予定表として年齢順を考慮したものが提示され、今後の担当校の検討がなされた。

なお、全国規模の学会（日泌総会、日本泌尿器内視鏡学会総会）に立候補する先生は担当年を後に回し、主催が決まった際には西日本総会を辞退していただくことが決定している。

2023年（第37回）日本泌尿器内視鏡学会総会会長に鳥取大学 武中篤教授が決定、2025年（第112回）日本泌尿器科学会総会会長に九州大学 江藤正俊教授が決定したため辞退された。

審議の結果、今後の学術総会担当は以下の通りに内定した。

2025年（第77回）高知大学 井上啓史 教授

2026年（第78回）久留米大学 井川掌 教授

【決議事項】

第1号議案 名誉会員の推薦の件

議長より、令和3年度の名誉会員として、以下の候補者を提案し、これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り承認された。

三股浩光 先生（大分大学医学部附属病院長）

椎名浩昭 先生（島根大学医学部附属病院長）

第2号議案 総会補助金規則の件

今回の総会より、補助金の取り扱いについての規則が制定されることが報告された。

本会から総会校に支給した補助金（500万円）を含めた余剰金を総会の収支決算書とともに一度本会へ返却すること、本会が支払う税金相当分を差し引いたあとに上限500万円を総会校へ研究協力費として返却すること、損失が出た場合には本会が補填することが説明された。

第3号議案（追加）各種規則の件

以下の規則について、配布資料の通りに承認された。

入退会に関する規則

委員会規則

編集委員会規則

利益相反委員会規則

倫理委員会規則

【退職のご挨拶】

以下の各教授より退職の挨拶がなされた。

岡山大学 那須 保友 教授

川崎医科大学 永井 敦 教授

山口大学 松山 豪泰 教授

長崎大学 酒井 英樹 教授

【理事就任時期について】

法人化前の当会では、教授の就任に伴い理事に就任し、教授の退任に伴い理事を退任することになっていたが、法人化後の理事就任は選挙により選出された候補者が選任されることになったことから、議場より再来年の第1回の選挙の間に教授に就任した場合や教授を退任した場合の処遇がどうなるのかという質問があり、これを契機として議論がなされた。

その結果、教授に就任後に次の選挙まで間がある場合は、例えばオブザーバー等「理事」以外の何らかの職名で出席を認める扱いとすることが確認された。また、任期途中で退任した場合は、従前通り理事も退任すべきか確認されたが、現行定款では途中で理事の資格を失った場合の理事の退任を定めた条文がないことから、例えば「理事は正会員」に限るという一文を定款に加えること、但し、定款変更手続は社員総会決議によるため、同決議による承認を待つことで決定した。

議長は以上をもって議事終了を告げ、令和3年11月4日14時44分に閉会を宣言した。

上記議決を明確にするため、出席した理事及び監事が署名捺印する。